

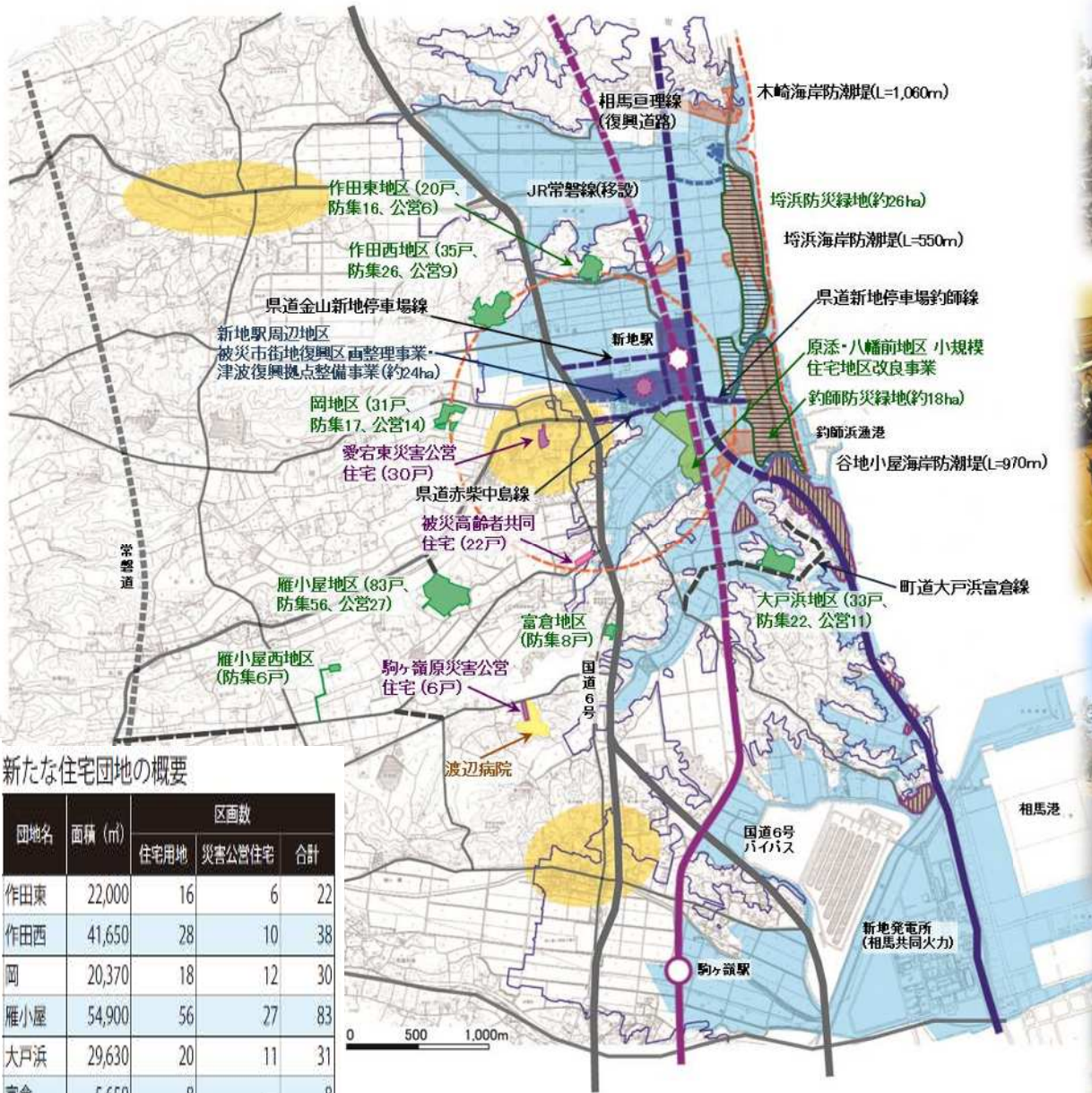
環境未来都市の創造に向けた環境・経済・社会の価値を高める「スマート・ハイブリッドタウン」構築に向けて



新地町主な復興事業

新地町 主な復興事業

- ① 防災集団移転促進事業 移転団地
- ② 区画整理・津波復興拠点整備事業
- ③ 公営住宅
- ④ 被災高齢者共同住宅
- ⑤ 小規模住宅地区改良事業
- ⑥ 県道整備
- ⑦ 町道整備
- ⑧ JR常磐線移設
- ⑨ 河川
- ⑩ 防災緑地
- ⑪ 海岸防潮堤
- 災害危険区域
- 水産加工関連・浴道観光施設等
- 浸水区域
- 標高10m
- 既存の国県道
- 既存の中心的集落



移転促進区域の概要

移転促進区域	面積 (m ²)	被害状況 (戸数)			移転数	
		全壊	半壊	合計	世帯数	住民数
磯山	16,978	11	1	12	13	42
堤浜	118,958	50	0	50	55	177
作田	6,650	7	0	7	8	25
釣師	183,106	166	0	166	167	506
牛川南	17,551	5	0	5	5	14
大戸浜1	122,589	91	6	97	93	277
大戸浜2	10,047	5	1	6	6	17
今泉	21,321	10	2	12	11	34
合計	497,209	345	10	355	358	1,092

新たな住宅団地の概要

団地名	面積 (m ²)	区画数		
		住宅用地	災害公営住宅	合計
作田東	22,000	16	6	22
作田西	41,650	28	10	38
岡	20,370	18	12	30
雁小屋	54,900	56	27	83
大戸浜	29,630	20	11	31
富倉	5,650	8	-	8
雁小屋西	6,000	6	-	6
合計	180,200	152	66	218



「スマート・ハイブリッドタウン」推進事業の全体イメージ

地域エネルギー 行動支援ネット ワーク事業

あなたの
節電ランキング
は地区内 位です
CO2 分の節電がで
きました

今日は
たくさん
節電でき
たね

コツを友達に教
えてあげよう



・エネルギー消費
モニタリングシステム
・双方向通信タブレット
・50～100住宅へ設置

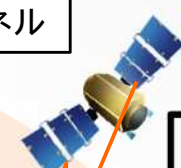


エネルギー
消費実績



既設の太陽光パネル

太陽光パネル
発電量



公共交通システム



地域交通行動 支援ネットワーク 事業

GPSシステム

超高齢化に対応した
公共交通システム運行計画



スマート・ハイブリッドセンター
インターネット
回線を利用した
双方向情報
ネットワーク

節電関連情報

福祉関連情報

利用実態

データ蓄積

運行実績

スマート・ ハイブリッド センター事業

将来のまちづくりへの
基礎情報として活用

将来展開

地域産業ストックを活用した
エネルギー計画への



太陽熱

工場群



熱供給施設

火力発電所
LNG基地



熱・CO₂

高齢化コミュニティ生活 支援ネットワーク事業

図書館に囲碁クラ
ブの仲間が5人い
るから、いってみ
るか。



地域エネルギー行動支援ネットワーク事業

地域ポイント制による「省エネを自慢し合えるコミュニティ」の実現

- ・地域ポイント制による地域コミュニティの活性化と「絆」の創生
- ・見える化による省エネ行動支援と省エネ意識の啓発
- ・省エネランキング発表や表彰制度による楽しい省エネ

地域ポイント付与の手順

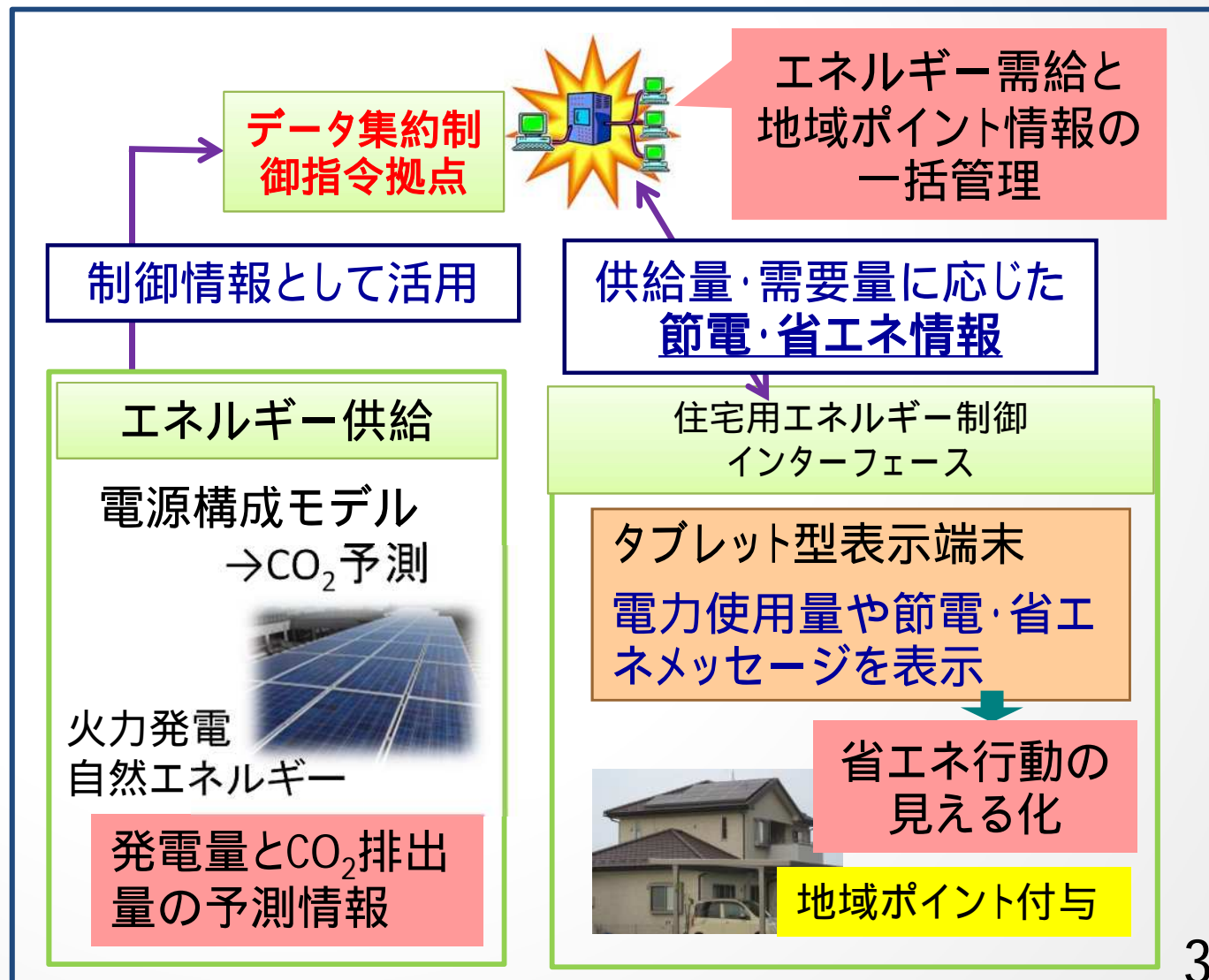
電力需供やCO₂排出量に応じて地域ポイント設定

リアルタイムで節電・省エネメッセージを需要家へ送信

需要家によるオンデマンドの節電・省エネ行動

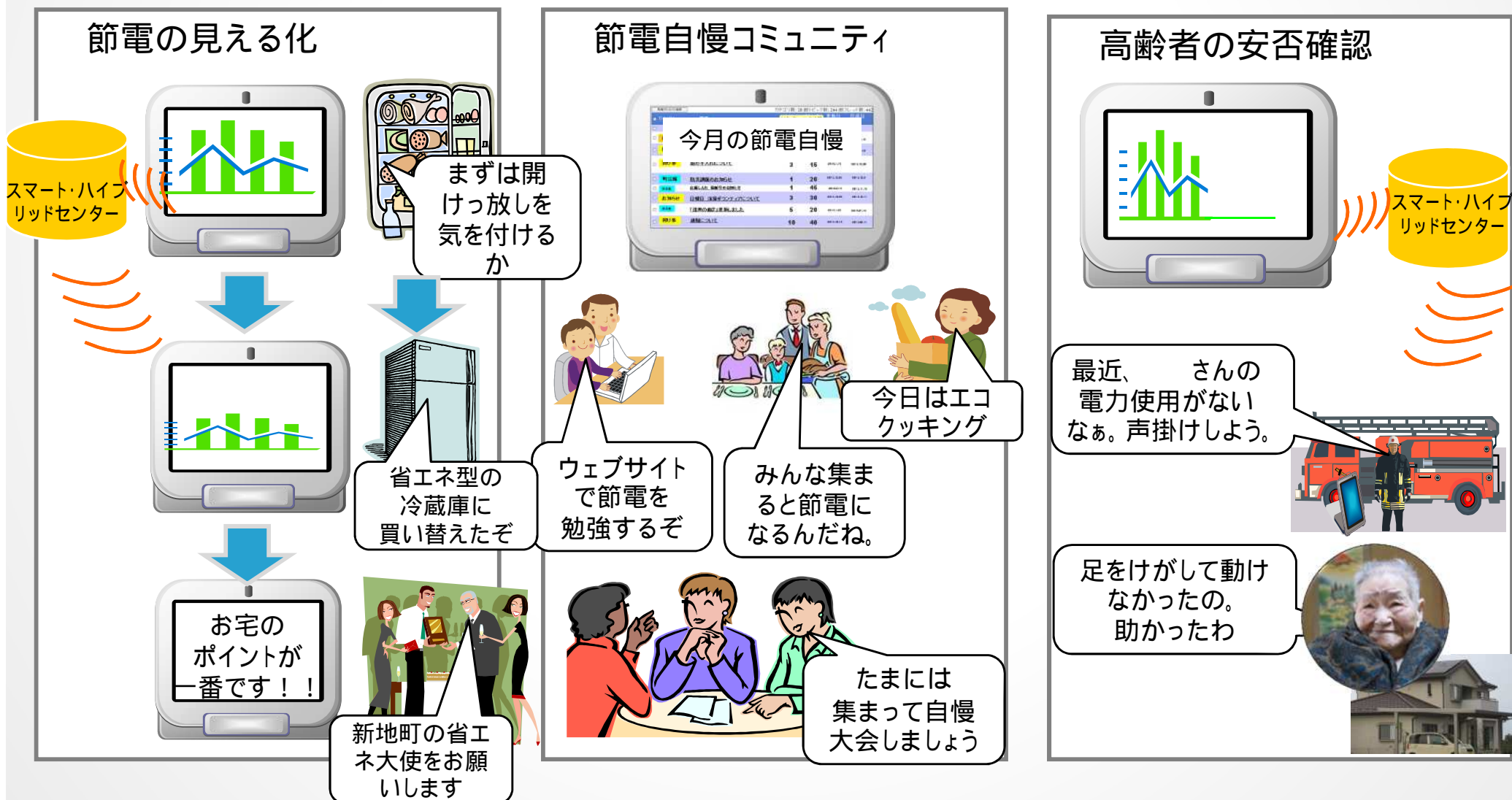
節電・省エネ情報を収集

各需要家へ省エネ分を地域ポイントとして付与

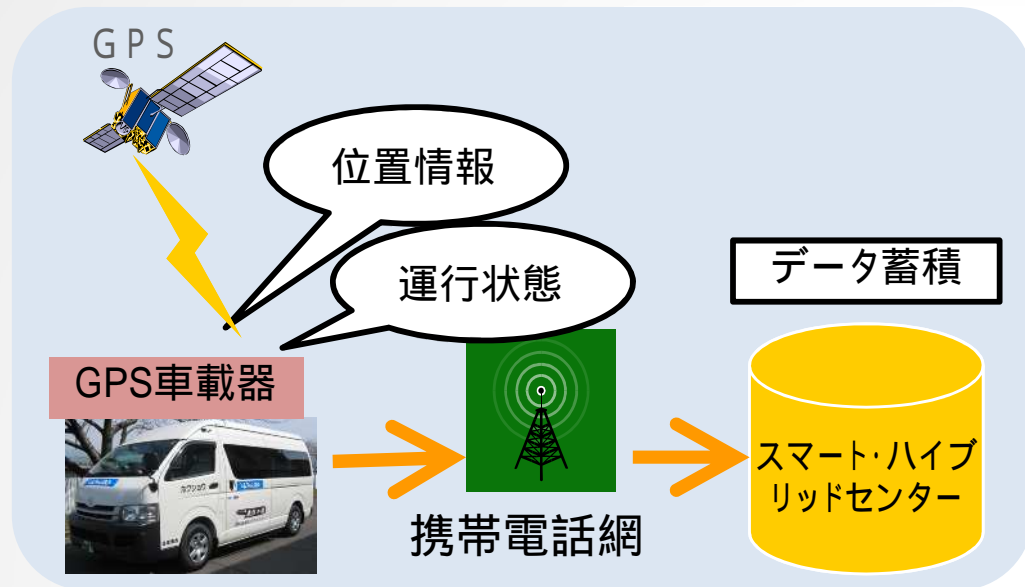


高齢化コミュニティ生活支援ネットワーク事業

初年度は、電力の「見える化」を中心に節電行動支援（情報送付とコミュニティ内の情報交換）、電力使用量を確認することで高齢者の安否確認を行う仕組みを導入する。次年度以降は、ワークショップの結果やデータの解析結果を受けて、新地町ならではのアプリケーションを開発していく。



地域交通支援ネットワーク事業



利用状況等に関するデータ解析にもとづく運行管理

よく利用されるルートは？
コミュニティの活発な場所へも立ち寄るようにしよう
実運行でムダな運行はないか？（環境負荷）
多くの利用を促すために運行ルートの柔軟な対応を検討

将来の公共交通システム再編計画に着手

循環方式とデマンド方式の連携に関する実験的運行
公共交通利用に関する地域ポテンシャル（潜在需要）の把握



図 コミュニティ交通の運行ルートの考え方



**ご静聴いただき、
ありがとうございました。**

千葉県在住の土井新智(しんち)くん(1歳)。
震災後にお母さんが新地町でのボランティア活動に参加。
平成24年1月に生まれた息子が「しんち」くんです。